

ため池ハザードマップの基本的な考え方

ため池ハザードマップとは、ため池の堤防が決壊した場合に、浸水が想定される区域や避難場所（避難経路）等の情報を取りまとめた地図であり、住民の皆さんが避難の参考とするために作成したものです。

災害に備えて事前に避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

ご自分の家や生活する場所が浸水想定区域に入っていないとしても決して安心しないで、お近くにお住まいの方の避難場所や避難経路も確認しておきましょう。

このマップをもとに、日頃から家族や近所で話し合い、避難場所や家族の連絡先も書き込みましょう。

※災害の状況によって、ため池の決壊位置や浸水区域が異なることもあります。
 ※マップの浸水想定区域には、ため池の堤防が決壊した場合の最大浸水深を表示しています。

兼要畑池の状況

堤高	14.30m
貯水量	70,000m ³

※堤高とは、ため池の堤防の高さを示します。

避難場所一覧表

災害の状況によっては避難できない場合もありますので、最寄の避難場所をいくつか確認しておき、安全な場所へ避難してください。

- ① 国玉神社

避難の考え方

■ 裏山へ逃げる

決壊後6分

流速1.5m/秒以上の地点がほとんどであると想定する

決壊後3分

流速1.5m/秒以上の地点がほとんどであると想定する

決壊後10分

流速1.5m/秒以上の地点がほとんどであると想定する

決壊後20分

大富川沿いでは流速0.5m/秒以上の地点がほとんどであると想定する

凡例

	避難場所
	避難経路(山、高台)
	土砂災害警戒区域(土石流危険渓流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地崩壊危険箇所)

マップの最大浸水深別色わけ

⑥ 水深5m以上		いずれの流速でも避難不可能(水深1.0m以上)
⑤ 水深3~5m	2階の軒下まで浸水する程度	
④ 水深2~3m	2階の床下まで浸水する程度	
③ 水深1~2m	1階の軒下まで浸水する程度	
② 水深0.5~1m	大人の腰までつかる程度	
① 水深0.5未満	大人の膝までつかる程度	

※流速0.5m/秒未満の地点がほとんどになるのは、40分後と想定する

0 100 500 1,000 (m)
1:10,000